

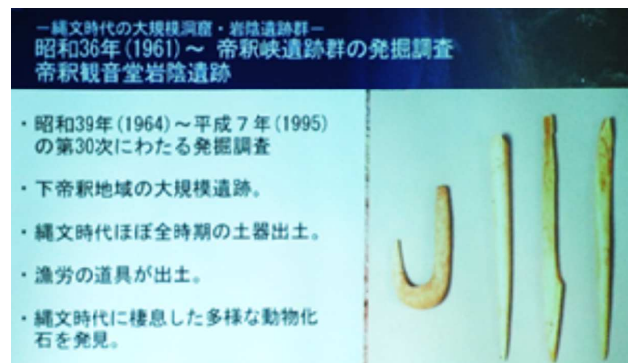
## ふるさと今昔講座 ～第8回講座～

ふるさと今昔講座では、2月13日（土）時悠館主催の森本直人先生（広島県立歴史博物館）による「岩陰遺跡と火山灰に埋もれた遺跡」と題した講演を、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の一環で、リモートで受講していただきました。東城自治振興センターでは、サテライト会場として、10名の方々が視聴されました。

講演の内容は、前半は、後期旧石器時代約3万5000年前1万6500年前ナウマンゾウやヤベオオツノジカといった大型哺乳類が生息した時期の人々の暮らしの様子についてのお話から始まり、縄文時代について約1万6500年前から3000年前の大型哺乳類が絶滅し、シカやイノシシなどの中小型動物が増加している時代の人々の暮らしの様子について広島県内の遺跡の発掘調査からわかることをお話しいただきました。

後半は、中国山地の後期旧石器時代の石器の編年や広島県内で200を超える縄文時代の遺跡の特徴。その中で、中国山地において、日本の最古級の石器群が三次・庄原で出土していること。縄文時代全時期に渡る暮らし・生業にかかわる様々な遺物が帝釈峡遺跡群から出土しており、多様な暮らしを解明できる地域であること等中国山地にある縄文遺跡の重要性についてよくわかるように説明していただきました。

帝釈峡遺跡群から縄文時代の環境を探る研究が進んでいることがよくわかりました。帝釈峡遺跡が、日本を代表する遺跡としてどのような特徴を持つものであるのかを改めて知ることができる講演会でした。㊟



## ～第9回講座～

ふるさと今昔講座では、3月6日（土）時悠館主催の藤野次史先生（広島大学総合博物館名誉教授）による「中国山地の先史狩猟採集民」と題した講演を、リモートで受講していただきました。東城自治振興センターでは、10名の方々が視聴されました。

講演の内容は、中国地方の自然環境は中国山地を境に気候が異なり、動植物にその違いが出てきています。その自然環境が旧石器・縄文時代（先史時代）にもたらした影響についてご講演いただきました。中国山地の山頂の尾根を通り、動物・獣たちの道を利用しながら、人が移動していく道が作られてきたこと。旧石器時代の狩猟採集民が使っていた石器の特徴から各地域のつながりや生活の姿について。旧石器時代の終末期には東北や北海道と関連していたことがわかったことをお話されました。

旧石器時代の人々の移動の様子から、帝釈峡遺跡群と他の遺跡との関係を知ることができる講演会でした。㊟



## ～第10回講座～

ふるさと今昔講座を3月9日（火）東城自治振興センターにおいて開催しました。

近藤芳弘さんから、40年前に収録された話が東城の民話という本になり、その本から地域のつながりがわかったり、神社の由来等がわかったりしていることをお話しいただきました。実際に現地に行って屋号と関係があることや聞き取り調査したことなど今では知りえないお話を聞かせていただきました。また、東城の民話の中に収録されているお話が、現在いろいろなどところで活用されていることもお話しいただきました。

片島富子さん高尾純子さんによって、三次もののけミュージアムで改作された「化け猫山」のお話の朗読を、パワーポイントで紙芝居のように絵を取り入れ、お話していただきました。続いて、法恩寺にまつわるお話と法恩寺の民話3話の中の1話「兵衛の松」を歴史的事象がよくわかるように解説をしていただきながら、朗読していただきました。お二人には、民話の持つ温かい雰囲気醸し出していただき、子供たちに語られている民話の世界を感じさせていただきました。

近藤芳弘さんたちが、苦勞して「東城の民話」を作成されたことによって、現在語り継がれています。今後も、「東城の民話」を多くの方に読んでほしいと思いました。

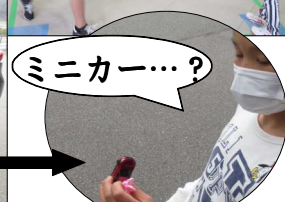
続いて、事務局高木から40年前に東城に伝わる昔話の録音に残っていたお話の中から、わかることを調べて紹介しました。例えば、東城に伝わる「桃太郎」のお話では、きび団子を渡す時「一つはやられん、半分やろう。」というのが語り継がれていました。どうしてそういう言い方になったかはわかりませんが、同じようなお話が、京都府にも残っていました。また、人物や語り口の特徴についてなど、まとめたものを資料として提示しました。最後に、民話では、命が亡くなったり、厄介者として追い払われたりするお話となっていることがあり、子供たちが楽しんで聞くことのできる改作した民話を紹介しました。

今回は、31名の受講生でした。皆さんとても熱心に受講してくださいました。(9)



## しごんぼ隊 ～ファイナルゲーム～

3月13日（土）、しごんぼ隊は町子連の方を講師に迎え「2020ワールドゲーム王決定戦」と題し、ファイナルゲームを開催しました。ひとつめは、サイコロを振り出た目の数だけ進めるスゴクゴルフゲームです。途中で池（1打プラス）、バンカー（条件を満たすと出れる）などゴルフにちなんだマスがあり、何回も同じところを行ったり来たり…20打以上かかったり、最少打数でクリア出来たりと、様々なコースを楽しんでいました。もう一つは野球ゲームです。攻撃・守備に分かれサイコロを振り、攻撃側が守備より大きな目を出せばヒット！床に作ったグラウンドを実際に回って得点を競い合いました。そしてワールドゲーム王にはなんと豪華景品！車のプレゼント！と思ったら景品のミニカーを運ぶ車だった…というオチが付き、ファイナルゲームを存分に楽しんだしごんぼ隊でした。(k)



## ウーマンカレッジ ～3月の行事～

ウーマンカレッジは3月15日(月)に、グリーンウインズさとやまの齊木義伸さんを講師に迎え、寄せ植えをしました。ミニバラやチューリップなどたくさんの種類の中から7本選び、花の大きさや色、高さなど、バランスを考えて齊木先生に楽しい助言をいただきながら、配置を決め植え付けていきます。土を入れたら、水苔を敷き詰めて完成です。寄せ植えが初めての方もいらっしゃいましたが、会員同士で「いいんじゃない?それもきれいよ。」と声を掛け合いながら楽しく作業をしていきました。どれも春らしいかわいい仕上がりになりました。今年度最後の全体行事を明るく締めくくりました。

サロンでは21日(日)に東城支所で開催された、市民啓発研修会に参加しました。映画「ぼけますから、よろしくお願いします」監督 信友直子先生の「認知症が私たち家族にくれた贈り物」と題した講演で、ご自身の介護の体験を通して感じたことなどを聴かせていただきました。家族だけでの介護は、行き詰まることもあるので、介護サービスを活用しプロに頼ること、ご近所とお互いに助け合うこと、自分の考え方を自分で楽しいほうに変えていくことなどが大切だと学びました。参加した会員さんもこれから活かせるお話だったと、前向きな気持ちになりました。(m)



## NHK交響楽団 三又治彦 藤村俊介 を迎えて 遠藤さつき 備北路 コンサート



# 令和3年5月15日 (土)

開演 18:00 (開場 17:30)

庄原市東城文化ホール

チケット販売中

一般前売券 1,500円 (当日 2,000円)  
小・中・高校生は無料 (要整理券)  
(未就学児入場不可)

※チケット販売時に「新型コロナウイルス感染症」の感染予防に向けた対応、またお願いについて書かれた文書をお渡します。

行事名	とき	4月からの行事内容
<b>ふるさと今昔講座</b> (講座は会員以外でも受講できます)	4月13日(火) 13:30~	・第1回講座 郷土の自然と歴史と文化 「大福田寺誌にみる長尾隼人正一勝」 講師 高木 保 会場 東城自治振興センター  <b>令和3年度 ふるさと今昔講座生を募集します</b> 対象:東城町内にお住まいの方 年会費:3,000円 申込用紙は東城自治振興センターにあります
<b>ウーマンカレッジ</b>	4月26日(月) (予定)	・「開校式」 後日、詳細の案内を送らせていただきます  <b>令和3年度 ウーマンカレッジ受講生を募集します</b> 対象:東城地区在住の女性 年会費:3,000円 申込用紙は東城自治振興センターにあります
<b>しごんぼ隊</b>		<b>令和3年度 しごんぼ隊員を募集します</b> 年会費:1,000円 対象:東城小学校児童 申込用紙は東城小学校にて配布いたします
<b>遠藤さつき 備前コンサート</b>	5月15日(土) 18:00~	・遠藤さつき備北路コンサート 開演 18:00 前売券 一般 1,500円 (高校生以下無料)



# 感染症対策

へのご協力をお願いします

： 新型コロナウイルスを含む感染症対策の  
 基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む  
 咳エチケット」です。

## ①手洗い

## 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## ②咳エチケット

## 3つの咳エチケット

電車や職場、学校などが集まるところでやる

- 
- マスクを着用する (口・鼻を覆う)
  - ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
  - 袖で口・鼻を覆う

**×** 何もせずに咳やくしゃみをする

## 正しいマスクの着用

- 
- 鼻と口の両方を確実に覆う
  - ゴムひもを耳にかける
  - 隙間がないよう鼻まで覆う

**×** 咳やくしゃみを手でおさえる



■ 詳しい情報はこちら

厚労省

検索

